cocoon テンプレートのプラグインについての説明書

cocoon テンプレートでのプラグインについてまとめました。
cocoon テンプレートを使って解説しています。

この「cocoon テンプレートのプラグインについての説明書」の著作権は、全てベルメンエアにあります。

・All In One SEO Pack

cocoon テンプレートには、同じ機能が付いています。不要です。

cocoon を使うならば、「All In One SEO Pack」は機能がダブってしまいます。

導入しているプラグインです。

「TinyMCE Advanced」

「Contact Form 7」

「Disable Comments」

「Google XML Sitemaps」

「No Self Pings」

「PS Auto Sitemap」

「Classic Editor」

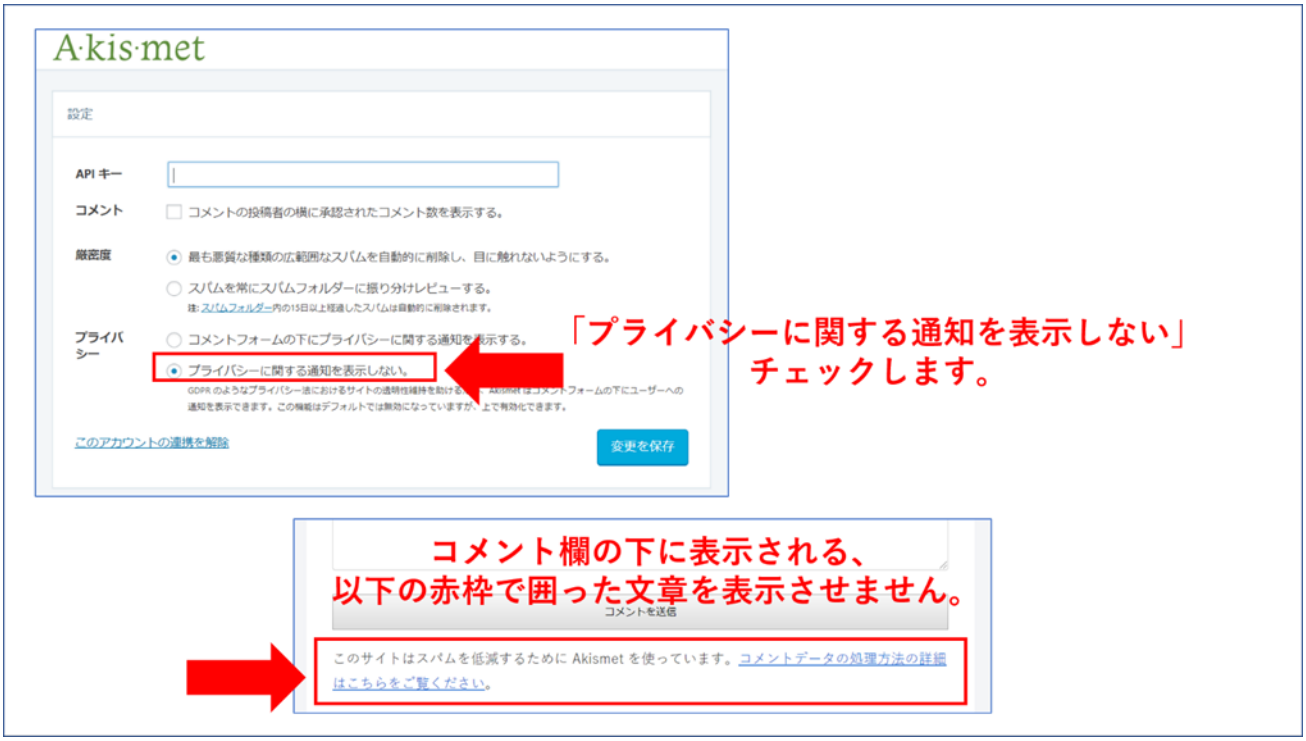
「Akismet Anti-Spam」（個人的におすすめのプラグインでしたが、広告を掲載すると有料になります。アドセンスも広告なので、厳密には有料での使用になります。ここは、個人の判断に委ねられるところですが、私は、おすすめのプラグインから、外しています。）

「TinyMCE Advanced」

テキストエディターで「ビジュアル」を選択した時に、cocoon のショートコード機能（テンプレート）を使う時に使います。

「Akismet Anti-Spam」スパムを軽減してくれます。

設定で、「プライバシーに関する通知を表示しない」にチェックします。



「Contact Form 7」お問い合わせフォームが作れます。

「Disable Comments」ブログ内のすべてのコメントを停止できます。コメントは、ブログの読者の方とのコミュニケーションの場ですが、アドセンス審査中は停止しておきます。理由は、コメント欄は不特定多数の方がコメントされます。もしもアドセンスのプログラムポリシーに違反するような言葉、表現がコメント欄にあると、審査に影響すると考えていますので、審査中は「Disable Comments」でコメント停止しています。

「Google XML Sitemaps」検索エンジンにサイトマップを送信してくれます。

「No Self Pings」内部リンクでの通知セルフピンバックを制御してくれます。

「PS Auto Sitemap」サイトマップを自動で作成してくれます。「Google XML Sitemaps」は検索エンジン用サイトマップ、「PS Auto Sitemap」はブログ用サイトマップを作成できます。

「Classic Editor」ワードプレス 5.0 以降はエディターが Gutenberg に進化しまいしたが、使い方が難しいと感じる方は、「Classic Editor」で旧エディターに戻します。cocoon には、旧エディターにプラグインなしで戻す機能があります。

Hello Dolly は削除します。

Head Cleaner というプラグインを使われる方は、アドセンス審査に合格できないことがあると言われているので、アドセンス審査中は使用しないほうが良いです。

以上「cocoon テンプレートのプラグインについての説明書」でした。

ベルメンエア
アドセンスリアライズ
https://muninget.com/